

(仮称) 草津市歴史資料館整備基本計画の策定について

1. 策定の主旨・背景

本市には、史跡芦浦観音寺跡、史跡草津宿本陣、史跡野路小野山製鉄遺跡の3つの史跡が所在し、これらの歴史資産を活かしたまちづくりを進めるため、歴史資産を展示、公開、活用する施設を関連文化財群（3つの史跡）の近辺での整備に向けて取り組みを進めている。

3史跡のうち、史跡芦浦観音寺跡については、史跡整備に着手し、その整備と並行して、史跡芦浦観音寺跡近辺における歴史資料館の整備を進めることとして、令和6年7月に資料館整備の方針を示す「(仮称) 草津市歴史資料館整備基本構想」を策定した。

この基本構想に基づき、資料館の基本理念や機能、施設計画、展示計画等を定める基本計画を策定する。



芦浦観音寺



草津のサンヤレ踊り

芦浦観音寺や「草津のサンヤレ踊り」等、地域の人々の祈りや、故郷を愛する思いによって守り継承されてきた風習や民俗芸能等の歴史資産を対象とする。

【これまでの経緯】

- 草津市歴史文化基本構想（平成31年3月策定）
歴史資産を展示公開活用する施設は、関連文化財群の整備と併せ、保存公開施設を配置する方法等が考えられるため、今後適切な方法を検討する。
- 草津市文化財保存活用地域計画（令和2年3月策定）
歴史文化を活かしたまちづくりを進めるため、歴史資産を守り伝え活用する施設のあり方を検討し、歴史資産を保存公開する施設の整備を進める。
- 草津市文化芸術機能等施設整備基本計画（令和4年3月見直し）
歴史資産を展示公開活用する施設は、関連文化財群の近辺において整備することが有効であることから、三ツ池に歴史伝統館機能の施設整備を行わず、別途検討する。
- (仮称) 草津市歴史資料館整備基本構想（令和6年7月策定）
歴史資産を将来にわたって継承していくため、歴史資産の「保存・継承」と「公開・活用」を互いに欠くことのできない一体の事業として実施することを目的に「史跡芦浦観音寺跡」近辺に整備する歴史資料館における歴史資産の保存・展示・公開・活用の考え方について検討。

2. 計画策定期

令和8年5月（予定）

3. 策定にあたっての視点

（仮称）草津市歴史資料館整備基本構想や関連計画、関連法令等の考え方を踏まえ、地域に残された歴史文化財の保護と活用、史跡との相乗効果、歴史文化財の学習・普及啓発に資する資料館を整備するために多様な視点から計画策定を進める。

4. 策定に向けた体制

（仮称）草津市歴史資料館整備基本計画策定作業の円滑な推進を図るため、組織体制は次のとおりとします。

（1）附属機関

学識経験者、関係団体、地域の代表で構成する草津市文化財保護審議会において、専門的、総合的な見地から教育委員会の諮問に答申をいただき、計画策定を進める。

5. 計画の構成・内容

（1）基本的な考え方

基本理念、資料館の機能等の検討

（2）施設計画

諸室の機能と構成、ゾーニング、諸室規模、必要設備等の検討

（3）展示計画

展示コンセプト、展示ゾーニング、動線、展示手法等の検討

（4）運営計画

管理運営方法、管理運営体制等の検討

6. 市民参加の手法

計画策定にあたっては、地元代表者を含めた草津市文化財保護審議会で計画案を検討のうえ、パブリックコメントを実施します。

7. スケジュール

別紙のとおり

8. 整備予定地

史跡芦浦観音寺跡近辺